

第17回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2018年2月10日(土) 10:00~11:40
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長、友田副委員長(司会進行)、長谷委員、三宅委員
市より	:北川部長、森田課長、藪田主幹、尾川係長、林パイプライン担当
傍聴者	:11名

○司会 皆様、おはようございます。

10時、定刻になりました。利用者の会から、一応ご連絡があるのが、春木様が今日のご都合が悪いということで欠席。長谷様はちょっと遅れてこられるということです。あとは大永様だけでございます。

早速ですが、第17回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思います。

本日の司会進行は利用者の会の友田がやらせていただきますので、よろしくお願いたします。本日の議題が7つと盛りだくさんでございますので、議事進行等、皆様のご協力をよろしくお願いします。

本日の配付資料でございますが、資料が1から5までございますので、まずはご確認をお願いいたします。ないようであれば、こちらの右手にございますので、お取りください。

早速、本日議題の1、パイプライン運転報告について、資料1に関しまして林様からご説明をよろしくお願いいたします。

○市 芦屋市の林です。おはようございます。

毎月のパイプライン運転報告といたしまして、資料1で説明させていただきます。

前回の報告が1月10日まででしたので、1月11日から2月5日までの発生したトラブルについて報告させていただきます。表面がシステム異常発報の対応で、裏面が利用者からの連絡対応、その下が巡回及び定期点検で発見された不具合点等を記載しております。今回から表面の表紙にナンバーをつけさせていただきます、それに合わせて報告させていただきます。

まず、システム異常発報について報告させていただきます。量が多いので幾つかピックアップして報告させていただきます。一番左の欄のナンバー1をごらんください。

1月12日金曜日8時半、ローカル、新浜町、場所が3149、スクリュウ、ブリッジ異常。こちらの件ですが、後ほど説明させていただきます。

ナンバー7とナンバー21をあわせて説明させていただきます。ナンバー7は場所が5059、排出機弁、閉異常。これはベルトが切れたためベルトの交換を行いました。似たようなことでナンバー21、これは遮断弁になりますが、ベルトの交換を行いました。どんなことを行ったのかを簡単に説明させていただきます。

これは高浜町の投入口の下ピット内の写真ですが、実際の作業中の写真になります。右手がピット内の写真で、赤丸のところが遮断機弁です。左手が遮断機を拡大して写真を撮っているのですが、下に遮断機弁と矢印のついた鉄板があるのですが、これが弁で、通常であれば輸送管を遮断しているのですが、運転になるとこれが上に上がりまして、ごみの輸送が可能になります。上にモーターがついていて、写真では、鉄板で見えないですが、この中にベルトが入っています。このベルトで遮断弁を上下に移動させております。

こういったベルトに関しましても、月1回の定期点検でベルトの張りの調整や摩耗を確認しているのですが、こういった故障も起きまして、その都度ベルトの交換を行っております。

件数につきましては、平成27年度が19件、平成28年度が10件、平成29年度22件となっております。

つづきまして裏面をごらんください。利用者からの連絡対応について、今月は2件ございました。1件はバケットが開かない、もう一件は誤投入です。誤投入の件ですが、資料3で説明させていただきます。日曜日の運転対応に絡んできまして、土曜日の夜21時に市民から本庁の守衛室に連絡があり、それで翌日の7時15分に、誤投入された方と待ち合わせをしまして、投入口の貯留槽から誤投入の物を出しました。誤投入の内容といたしましては母子手帳らしいです。誤ってごみ袋に入れたままごみを投入してしまったと聞いております。

件数といたしましては平成27年度が3件、28年度が3件、29年度が2件となっております。その下の「巡回及び定期点検で発見された不具合等」につきましては、今回はそこまで大きなトラブルありませんでしたので、報告は割愛させていただきます。

続きまして、パイプラインの運転報告、あとパイプラインの停止報告について報告させていただきます。こちらのパワーポイントをごらんください。

パイプラインの停止報告については、先月パイプラインで停止が発生しましたので、その件について報告させていただきます。停止概要につきましては、発生日が平成30年1月12日金曜日に発生をいたしました。このときからパイプラインは一部投入を停止しました。停止期間といたしましては12日金曜日から、1月24日水曜日が仮運転開始日になるのですが、そこまで約13日間投入を停止しました。今回の原因といたしましては、カメラ調査などを行ったのですが、水の侵入とか穴あき等はございませんでしたので、推測ですが、輸送管の中で何かごみが閉塞をして、運転ができなかったと考えます。

実際に何が閉塞していたのかですが、復旧作業のため高圧洗浄等で閉塞箇所を洗浄し、崩しましたので、そこにどのような物があったのかは不明です。

実際にどこで起きたのか、こちらの図面で説明させていただきます。右手に書いてある赤丸が芦屋浜の宮川より東側の地区になるのですが、それが赤丸で、左側がその拡大図になります。一番上の停止投入口1月12日、こちらが最初に停止した場所になります。投入口番号が3149。その後、1月16日にその下の投入口番号3139が停止しました。黄色で囲っているところが作業場所、その間に点検口が2カ所ありますが、そこからバキューム車などで吸引、高圧洗浄を行いまして、1月24日で閉塞は解消しております。

そのときの写真をその下につけさせていただきます。左手の写真、ちょっと見にくいのですが、奥のほうが閉塞箇所になります。最初は人が入管をして崩していたのですが、量が多かったので最終的にはバキューム車で作業を行いました。

次、右手が輸送管の点検口をあけたときの写真ですが、輸送管の下に土がこびりついているような状態で結構かたかったです。

最後に、作業中に輸送管から取り出したごみを一部紹介させていただきます。これは閉塞箇所というか閉塞した輸送管の中から見つかった物なので、これが直接閉塞の原因となったかはわかりません。左手が土や粘土質のものですが、土や粘土に関しましては輸送管内に堆積して閉塞の原因となりますので、投入はしないでください。また右手は布類ですが、布類に関しましては詰まりやすいので、できるだけその他燃やすごみの日に出していただきたいと思います。

こちらに関しましては、啓発といたしまして投入口の上にワーキング・グループBで掲示板を設置しましたので、そちらに啓発のチラシを各投入口に掲示しております。

また、こちらのマンションのラヴェール、マンションの各管理人さんにこちらの啓発チラシを渡しまして、どこかに掲示してほしいというお願いをしに行きました。

今回の閉塞に関しまして、作業の費用がどのくらいかかったか。こちらに記載はしていないのですが、大体180万円ほどかかっております。

報告は以上であります。

○司会 今のご説明に関しましてご質問、ございますか。

○利用者の会 利用者の会の三宅です。

これだけの量のごみが一度に溜まったとは思えないのですが、徐々に徐々にですか。

○市 そうだと思います。

○利用者の会 ということは、それ以前は順調に流れていたのですかね。

○市 そうですね。

○利用者の会 はい、わかりました。

○利用者の会 おはようございます。利用者の会の山口です。

180万円というのはショックで、5月に皆さんに全戸配付のチラシでいろいろ喚起したつもりですが、それ以来初めてかなと。去年の5月以来ですか。同じような場所かなと、地域かなという記憶も定かでないのですが。

どうしたらいいかですね、ちょっとこれは手を打たないと、180万円はでかいなと思うのですが、どうしたらいいのですかね。その辺、知恵を合わせて止めないと、これはちょっと大きいかと思います。

○利用者の会 今の閉塞箇所、投入口番号3149。書類の上のほう、これはラ・ヴェールのⅢの管理組合が管轄のところ。3139はラ・ヴェールのⅠが管轄でございます。180万円言われたんですね、80万円じゃなく、180。大きな金額ですから、この会が始まる前にフリートキングでお話したのですが、やはりラ・ヴェールさんと中層ですが、あと緑さんが住居数の割合に対して投入口とか下の溜めるスペースが少ないのではないかなと。だから今後、検討していかないといけないかなと、そういう雑談はしておりました。

この件に関しまして、今すぐ即答はないと思うのですが、やはり今後、長いこともたせていかないといけない、こういうことだけは避けていきたいと思っておりますので、協議を続ける。

私たち利用者の会も2月からは総務会をつくりまして、今まで山口委員長と大永様と

私、3名でいろいろなことをやってきたのですが、方針とか。一応2月からさらに人数をふやしまして、7名でやろうとスタート、キックオフミーティングをやりました。今後の私どもの取り組み、何をしたいとか、こういう諸問題についても、あとは、どういう形でこういう形をソリューションしていくとか、こういうのもこの総務会で案を練って、利用者の会の方々に提案していきたいと思っています。これは何とか知恵を出して解決していきたいと思います。

続きまして、ご質問がなければ本日の議題の2番、経費削減の取り組みの検証について、尾川様からご説明をお願いいたします。

○市 環境施設課尾川です。よろしくお願いします。

議題2に関しましては、資料2、経費削減の取り組みで横長のA4の紙になります。毎月の報告ですが、結論から申しますと順調に削減できております。1月はパイプラインの使用電力量が10万3,830キロワットアワー、電気代としまして193万9,276円。これがもし関西電力のままでありましたら309万6,294円で、削減金額としまして115万7,018円。毎月115万円強、順調に削減できております。今まで4月から関電からエネサーブに変わった削減金額の合計としまして1,156万4,119円という形で、2月、3月順調に達成できそうな勢いになっております。

経費削減の取り組みは以上です。

○司会 今のご説明に関しましてご質問ございますか。

ないようであれば、続きまして本日議題の3番、運転方法変更についてのご説明をお願いいたします。

○市 芦屋市の林です。

運転方法の変更につきまして、資料3をごらんください。

前回1月の協議会につきまして、日曜日の運転報告の途中経過を報告させていただいたのですが、その結果としまして2カ月間やったトータルの結果を報告させていただきます。

簡単に概要だけご説明させていただきます。現在、委託業者が毎日、日曜日を含めまして出勤しておりますが、その日曜日を祝日といたしまして、出勤しなければ維持管理費も削減できる可能性があるかどうかの検証を行いました。

一番上の、今までの日曜日といたしましては、通常運転、定時運転、満杯運転の実施。また、故障対応、モニタ（ディスプレイ）での故障解除等の範囲で対応してござい

た。また、1人でしたので、基本的には現場に行っておりません。検証実験、日曜日は運転をしない。定時運転も満杯運転もしない。また故障対応も行わない。モニタの確認も行わない。また、誤投入とか重度の故障に関しては対応しました。現場対応も行わない。検証期間は12月と1月の2カ月間の日曜日に行いました。

結果に関しましては下の表になるのですが、こちらの表の見方といたしましては、それぞれの地域の投入口の個数に対して、約何割が満杯になったかを示しております。ナンバーが一番左に振ってあるのですが、ナンバー1に関しましてはパイプライン全域、投入口の個数が130個ございまして、そのうち満杯がどれくらい出たかをあらわしております、大体平均が55.9%が満杯になっております。

ナンバー2に関しましては芦屋浜で、パイプライン地域を分けまして、芦屋浜と南芦屋浜に分けたら1番が2と3に分かれるのですが、2の芦屋浜は投入口が99箇所ございまして、平均が大体68.5%。

ナンバー3の南芦屋浜地区は投入口が31個ありますので、その平均が16.1%ございました。

芦屋浜地区は投入口の個数も多いことや、また高層や中層や低層がございまして、それをさらに分けて検証を行った結果がその下のナンバー2-1から2-4になります。

2-1が低層地区。こちら前のスクリーンで説明させていただきますと、緑の地域になります。この緑の地域に関しましては、日曜日運転しなければ平均で66.3%の箇所が満杯になります。

2-2は低層地区。潮見町、緑町こちら赤の地域ですが、こちらの日曜日に運転しなければ平均で55.1%が赤ランプになります。

2-3中層地区、こちらの黄色の地区。各棟に3つずつあるのですが、こちらが平均して91.7%、日曜日に運転しなければ赤ランプになります。一応こちらの2箇所に関しましては、先ほどの運転停止がございましたので、米印で書かせていただいているのですが、1月14日は1箇所、1月21日は2箇所運転を停止しておりましたので、頭数が6箇所ではなく、それぞれ5箇所と4箇所で検証を行っております。

最後に2-4高層地区は投入口が26箇所あるのですが、青の地域になります。こちらは日曜日運転しなければ平均して82.7%のところは赤ランプになりました。

その下に参考データといたしまして、運転停止した場合、これはパイプライン全域に

なるのですが、大体どの時間帯で満杯が出たかをあらわしております。最初、19～5は土曜日の19時から日曜日の朝5時まで。それぞれ日曜日の6時から9時まで、10時から12時まで、13時から15時まで、16時から18時まで。日曜日の19時から翌日月曜日の朝5時までの検証を行っております。大体昼ごろ、10時から12時、13時から15時、16時から18時が比較的多いという結果になりました。

その下の「設備・住民対応」の報告をさせていただきます。報告件数は、設備トラブルが2件ございました。前回1月の協議会で私が、呑み込み異常が2回あったと説明させていただいたのですが、それは誤りで、呑み込み異常が1件、停止異常が1件ございました。それらの日付もあわせて書かせていただいているのですが、項目①として12月17日呑み込み異常。こちらは横に書かせてもらっているのが、実際に日曜日人がいなければどんなことが起きるかを書かせていただいているのですが、基本的にはその投入口が運転できない、異常が出たら赤ランプになることがわかりました。実際、人がおれば現場対応を行って、すぐに青ランプにはできていたのですが、そちらは一応検証の段階でしたので、赤ランプのままになりました。

次、項目②の1月7日の停止異常です。こちらは、その投入口が運転できないだけであって、満杯、赤ランプになるまでは投入はできます。人がいればモニタを確認して、故障解除を行って、運転を可能にすることはできました。

最後に住民対応、1件ですが、資料1の運転報告でも報告させていただいた件で、誤投入です。土曜日の夜に守衛室から連絡がありまして、誤投入があって対応しました。こちらは上で書かせていただいたように誤投入は、本来であれば対応しなかったのですが、臨時的にというか検証段階だったので、これは対応いたしました。日曜日が運転停止であれば基本的に対応はできません。今は、人がいるのであれば現場に行って、貯留槽から誤投入したごみを取り出す対応をしております。

運転方法変更については以上になります。

○市 芦屋市の藪田です。

今の説明、日曜日の運転停止の実験。この実験の結果をまず説明させていただきましたが、やはりこれを見ていまして中層地区です、緑住宅さんとかラ・ヴェールさんですか。ほぼ日曜日は100%、赤ランプがついている状態になっていますし、高層地区につきましても8割ぐらいは赤ランプがついている状況ではあります。

ですが、このあたり上手に理解して、できるだけ日曜日以外に捨てるように工夫して

もらいますと、日曜日の運転をとめることができるんじゃないかというところですよ。

この運転をとめることができますと、やはり経費の削減につながると思いますので、できればこのあたり、皆さんの協力や工夫が必要ですが、やっていきたいなと思っております。

このことについて、前回の協議会で私から利用者の会へ、どうしましょうかと。次年度の、4月以降の委託契約の内容を変えないといけないので、いかがいたしましょうかという形で提案させてもらったのですが、いかがですか。

○司会 山口委員長、お願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この件に関しては、1月の利用者の会で話をもちました。まず現状から確認したいのですが、赤ランプがついている原因が2つあります。平均で約56%赤ランプがつかまりました。もう一つは、月1回異常があって赤ランプがつかまりましたということによろしいのですかね。

利用者の会ではどうしたらいいのかと話をしました。2つの意見が出まして、1つは、これを4月から継続してやろう。こういうことがあるのですが、やろうと。もう一つは日曜日は止めようじゃないか。だから日曜日、全く捨てられない状況にしようという意見もありました。

いろいろ話し合った結果、日曜日に全てをとめるのは、やはり各自治会、管理組合の話し合いをまずして、そこでいいですよという意見があって決めたほうがいいんじゃないかということで、これはことしの4月からやるにしても、その辺で時間をきちっともって、内部で話し合っただけでやりたいということですよ。

結論としては、4月からはこの試験運転した状況、これでやったらどうかということになりました。また1年やってみて、いろいろ問題があればそこで検討していくということだと思います。

私の経験ですけど、やはり私のところ高層ですが、昼からは赤ランプでした、ずっと。しかし先日、昼から青ランプだったんです。どうして青ランプだと思ったら、何のことはない2月なので通常、今までと変わらなくて青ランプになったのかなと思われて（実験は1月末で終了した）。

私もいろんな人に聞いたのですが、私たちの場合は都合よく2つ投入口があるのです。ですから万が一、片一方が赤だったら、とりあえず歩いて行ってほかのところにも入

れられるので、結構それはありました。それにしても赤ランプでどうですかという話をしましたけども、これは慣れの問題なので、恐らく慣れていけば、もう日曜日の昼からはだめだなということで慣れていくので、そんなに問題はない。やはりきちっと土曜日に捨てることを徹底していけば、何とかこれも、そんなにトラブルなく費用削減ができるのではないかと思います。ですから4月からこれをやっていただきたいということです。

○司会 藪田さん、どうぞ。

○市 それでは、4月の委託契約から日曜日はやめる。勤務しない、運転はしないという方向で、次年度4月以降、契約の話を進めたいと思います。

先ほども2つほどご意見があったということですが、今まで行った、12月、1月の実験と同じ方法でスタートさせようということです。

もう一つ、日曜日は捨てないようにしようという件、投入口をロックしようということかなと思いますが、こちらについては急いで決める必要もないのかなと思っていました。今、何で結論を急いでいるかと言いますと、4月以降の委託契約に話をしないといけない時期でしたので。このロックするかしないかというのは、多分システム的にロックをすればいいだけだと思います。やろうという話がまとまってからでも十分に合うものだと思ってますので、まずは4月以降の委託契約、こちらを費用削減する内容で進めていきたいと思います。

○利用者の会 この資料の中ですが、この書き方でわかるのであればということで、南芦屋の地区についても中層と低層という形がありますので、こちらも同じような条件で書いておいて欲しいなと思います。

ちょっと心配しているのは中層地区の部分ですが、要はいっぱいということは、その明るく日の状況はどんな感じだったのですか。たくさん投入して、また赤ランプがつき放しということではなかったのでしょうか。

○市 月曜日の運転はふえています。

○利用者の会 それで言うとトラブルはなかったと。

○市 そうです。

○利用者の会 はい。

○司会 それ以外でご質問等ございませんか。

ちなみに日曜日の出勤ですか。概算ですが、約250万円弱、年間ですか、減っていく

という数字は余り変わってないのですか。大まかには。わかりました。

それ以外にご質問ございませんか。大田さん、どうぞ。

○傍聴者 潮見町の大田です。

低層地区は比較的、赤ランプの発生が少ないようですが、この資料ですと1月7日、2-1と2-2の浜風関係と潮見関係の数字が、浜風関係が63.6%ですか。潮見が38.2%。同じ日曜日であっても、大きく数字が違うのは何か原因が考えられるかどうか。想像できるかどうか。倍近く数字が違うので。同じ、個数で言えば33と34ですか、わからないかな。

○市 その数字の検証まではまだしておりません。

○利用者の会 今回の数字でおもしろいなとは実は思ったのですが、低層地区の浜風、新浜は変わらないのです。むしろ変わっているのは、潮見のほう下がったのです。だからここが何で下がったのかが逆に知りたいかなと思います。ですから、低層地区の浜風、新浜が多いのではなくて、潮見が下がった。何かされたか、何か原因があったかという見方をしたほうがいいかなと私は思います。

○司会 それ以外にご質問等ございますか。浅田さん、どうぞ。

○傍聴者 浅田です。

今、日曜日の勤務を取りやめてという話になっておりますけれども、その際お願いしたいのが、今の人員体制が本当に必要なかの精査を、これをチャンスにやっていただいて。今、例えば1日5人で、残業が何時間とかいろいろあるかもしれませんが、何時に誰が何をしていた、それが必要なかどうか。余っている時間とかはないのか。そういうのをもう一回精査して、日曜日に減る分以外にも無駄なことと言うか、無駄と言ったら問題あるのでしょうか。ここは過剰に人員がいるんじゃないとか、そういう見直しをすれば250万円が300万円になるかもしれないことがありますので。業者さんといろいろあつれきあるかもしれませんが、具体的に誰が何をいつしているかをもう一回見直して、プラスアルファの削減をお願いできないかというのが1つ。

もう一つは、芦屋浜地域と南芦屋浜地域で赤ランプの頻度が4倍違うのです。ということは、南芦屋浜地域は電気代が芦屋浜地域に比べて非常に、一戸当たりの電気代が低い。これから15年、20年やっていく場合に、芦屋浜地域の電気代を下げるために南芦屋浜地域に合わせていくところ、もしくは近づけていくところがあって電気代の削減ができないか。要するに壊れたときの修理だとか、ちょっとした改良で芦屋浜地域

のものをより赤ランプがつきにくいような構造、一番問題のあるところを少し大きくするとか、そういうことなのですが、それが可能かどうか。それもこの際検証していったらどうかなと思います。

以上です。

○司会 今のご意見でぜひご検討ですか、コストのさらなる、これは素晴らしいアイデアだと思いますのでよろしく。それと今の電気代の件、それもあわせてご検討していただければ。やはり浅田様はこの業界に精通されてますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

ほかにないのでございましたら、次の議題の4番、ワーキンググループAの報告、資料4に関しまして、山口委員長から説明をお願いいたします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

今、浅田さんからご提案があったのは非常に素晴らしい視点だと思いますので、ワーキンググループでも、実際の議題として具体的に分析する必要があるなど私は思いました。

ワーキンググループA、久しぶりに1月25日、この場所で行いました。利用者の会からは6名が参加し、市からは3名参加して約9名で、時間的には5時半ぐらいまでやりましたので、かなりの時間やりました。

テーマに関しましては、現状の補修方法、要するにどうしたら今の補修を20年以上、安い費用、リーズナブルなコストでできるかで、まず現在どんな補修をやっているのかを確認して、今後どうするのかを考えました。

検討課題としては、現在の補修方法（耐摩耗鋼やパイプラインの交換）でコストを下げる方法を検討すると同時に、新しい工法が、それが非常に有効なツールで、しかもコストが削減できるのであれば、当然それも検討していくということでした。

次、基本的に現在どうしているのかを、やはり皆さん方に知っていただくということで、誰でもがわかりやすいように、こういう図解を今回してみました。現在、4つの方法でパイプラインが補修されております。

まず基本的には、小さな亀裂や小さな穴は点検口から入って行って水中ボンド、または水が漏れた場合は止水セメントで止めて、水中ボンドで補修しています。2番目に大きな穴とか腐食に関しましては耐摩耗鋼で、これで中から補修をしているということで、実際に耐摩耗鋼を、林さんに重たい物を持ってきていただいて、初めて私も見

ました。主に3つのパーツに分かれて、これを管の内側につけることで腐食とか大きな穴を補修する。

それから、大きな穴または長い亀裂の場合は、実際、去年高浜で40メートル、20メートルを2本埋めたそうですが、こういう工事が新しい管の交換で3,900万円かけて工事をされて、私も何回か見に行きましたけども、非常に深い穴です。これは見えづらいますが、絵の中央に丸い穴がある。これが上下水道か何かですね、そういうのがあって、集会所が右側にあるのですが、ここに通っているのですが、ここは通せないということで、新しく道路の真ん中に穴を掘って、新しい管をそこに埋められたということです。また、テストとして去年の1月末にFRPのライニングを40センチ、実証実験をされて、これを導入されたという4つが今のところ補修として使われる。ライニングはテストですが、あります。ということで、次のページに具体的な特徴をここにまとめてみました。

水中ボンドに関しましては、水にぬれた面や水中下でも硬化する特殊なセメント、補修系のパテ状の接着剤で、これをペタペタと張って、小さな亀裂とか穴を補修する。寿命としては非常に短い。基本的な考え方としては応急処置という考え方。そして日常の維持補修でこれを使用されている。費用的には人件費4名を含めて1日約10万円。当然これは場所と長さによって変動するでしょうけど、そのくらいの目処ですね。主に人件費です。中に入りますので、当然これは1人でやると非常に危険なので、外に人を置いたりして、4名ぐらいの者がかかると聞いております。

耐摩耗鋼、非常に強い素材で、管の内部にこれを張りつけるということです。ワンユニットの長さが40センチだそうです。厚さ13ミリで、比較的大きな穴や亀裂はこれで補修できる。耐久性も非常に長くて、10年から15年は経験上もつそうです。工期には二、三日。そして平成10年から実績として37箇所。1メートルで約50万円プラス人件費がかかるということで、結構な値段がかかるかなと私自身は思いました。

次にパイプ交換。補修はなかなか難しい、耐摩耗鋼でもできないようなボロボロの状態があった場合は、当然それは新しい管に交換することを考えなければいけないということで実際に去年ありました。交換するのはなかなか大変で、道路を掘ったり、いろんな管が地中に埋めてありますので、それを意識しながら工事をする必要があるということです。寿命としては10年以上もつ。

それから受注生産なので、結構な時間がかかることで、高浜の場合は4月から受注生

産をして約半年以上かかっております。平成10年から76、これは消してください、間違いです。上のコピーがそのまま、これは違います。平成29年度に20メートル掛ける2個、これが3,900万円で実施されています。約1メートル当たり100万円ぐらいの補修費がかかって、非常にお金がかかるということです。

ライニングを実証実験で去年1月からスタートしました。内部にプラスチックのFRPを張って、どれだけ摩耗するのか、何かこれをするによってこれが破壊されて、センターの機器に被害が起こらないかとか、いろんなことを調べてやっておられます。それで2日間でこれは工事ができて、約1メートルで25万円という費用でできる、安価にできる。ただし、鉄製の物がFRPに刺さって、そこから割れて、予想以上にこれが摩耗するのがわかって、ワーキンググループAでは、これは使えないかなという感想でした。

大体こういう形で話し合いをして、全員で現状を確認した後に、どんな方法があるかということで2点出ました。1つは管の中に管を入れたらどうかというアイデアと、新しいライニングの方法でそれをしたらどうかということで、今後、業者さんと呼んで話を聞くなり、検討を進めていくことで第1回目は終わりました。

以上でございます。

○司会 今のご説明に関しましてご質問等あれば。藪田さん。

○市 芦屋市の藪田です。

先日のワーキンググループの内容をよくまとめていただきまして、ありがとうございます。

先ほど山口さんの説明の中で、最後の3ページ目の表、パイプ交換で実績のところですか。平成10年から27年までに76箇所、「コピーで間違いです」とあったのですが、これは合ってるんじゃないかなと思います。今後のパイプラインに関する提案。これの32ページにあります穴あき工事の合計が76になっていますので、決して間違っはなくて、この76は合っているデータだと思います。

以上です。

○司会 それ以外にご質問等ございますか。

ないようであれば続きの議題に参りたいと思います。本日の議題、5番、今後のパイプライン施設に関する提案の整理で、山口委員長からご説明をお願いいたします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

去年の8月末に提案書を市長に出しまして、その後、皆さん方の、委員の方のご意見、アドバイス、各理事会、自治会の同じようなアドバイス、意見、また住民説明会で各住民直接のご意見をいただきました。いただいた意見をぜひとも私は生かしたいという思いですので、これをどう処理をするのかをきちっと文書として残したいし、提案にも何とか入れていきたいというのが1つあります。

2番目が、市長に出した提案書は、実はデータのベースが2015年までになっています。今は2018年です、2年間のデータが、まだ2017年度はファイナルになっていませんが、2016年度はもうファイナルになっています。そういうデータをどうしていったらいいのかを考えなければいけない。古いデータでずっと扱っていいのかということがあります。

当然今後、ワーキンググループ及びこの協議会、利用者の会でもいろんな案が出ると思います。そういう提案または検討内容を何かにきちっと残して行って、これも文書化していかないといけないという問題があります。と同時に、先ほどのいろんなトラブルのデータがありました。例えばこのシステム異常の対応、林さんが毎月報告される、これもこのままいくと年間どうなっているかは何もわからないまま流れていくわけです。これもやはり年度ごとにきちっと整理して、これも金額、労務費が出ていますので、これも含めてきちっとしたものをつくっていかないといけないと私は思っております。

それから当然、利用者の会も、この協議会もいろんな動きがありますし、組織変更もいろんなものがあるでしょう。そういうものも沿革、どんなふう動いて行って、どんなことをやっていったのかという記録も残していかないといけない、こういう問題を今後どうしていくのか、この4つにわたって私のほうで、じゃあどうしたらこれができるのかをいろいろ考えました。

その中で1つ、これは私の提案ですが、毎年一度、きちっとしたもの。私は勝手にこれ、「XX年度パイプラインに関するファクトブック及び提案」というものをつくって行って、そこに入れていく。それを記録としてきちっと載せていくのはどうでしょうかという考え方です。

それぞれの年度版をつくっていく。市も私はこのデータをいただいているのですが、緑色で平成27年度ごみ処理事業概要と書いてあります。これは普通、企業ではファクトブックという形で今つくっていると思います。たまたま私がいたのはヨーロッパの

企業でしたので、毎年ファクトブックをつくっておりました。今、大学でもこのファクトブックをつくって、ホームページで見ると、その大学がどんな活動をして、どうなっているか、すぐにわかるし、大手企業もファクトブックをつくって、その企業内容がわかるようになっていきます。こういうものをひとつつくって、毎年きちっと残していったらどうでしょうかというのが1つのアイデアです。

具体的に、例えば2018年に関しましては、9月から昨年12月にあった皆さん方の意見をきちっとファクトブックに載せる。それから2016年、2017年のデータが9月に議会に審議されて通ると思います。その時点では新しいデータができる。そういうものをきちんと追加していく。そして2018年度までに活動したのもそこにきちっと、こういう検討をしましたよ、ワーキンググループがそれぞれありますし、当然インフォメーションボードとか、メールのことも新しく先日決まりましたので、そういうものもきちっと。最後に組織の活動、沿革と、こういうものも当然組織も新しい組織が加わったり、利用者の会もしておりますので、そういうものもきちっと載せて、これから長い間この活動をしていこうということで、利用者の会でも新しい要綱で、その中のアイデアとしては32年ほど続けていこう。このパイプラインがきちっと代替案に変わるまで、やはり会は続けていって、それをきちっと見届けるといいますか、いろんな検討をしながら、できるだけ利用者の方が満足できて、芦屋市に関してもできるだけ低いコストでやっていく。そういうことをきちっとしたものに載せていこう。そうすることによって今抱えている課題、4つの問題を解決できるのではないかという基本的な考え方です。

これは当然、文章をつくりますので途中、途中でこの会に出していただいて、皆さんで検証していって、こういうふうに変えたらどうだ、文言はこうだということを含めてやっていったらどうかな。そして年度が終わったら、きちっとしたものが毎年積み上がって行って、それが32冊になるかどうかはわかりませんが、そういうものをしていこうというのが私の提案でございます。

○司会 ただいまのご説明に関しまして、いかがでしょうか。長谷さん、よろしく。

○利用者の会 長谷です。

提案の内容は漠然と頭に入れたところなのですが、この課題にある「今後のパイプライン施設に関する提案」、要するに15年度版あります。そのデータを利用しているので、そのデータの中を更新するということでしょうか。その提案を毎年変えていく、

そういう話なのでしょうか。そこがわからなかったのです。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

データは毎年どんどん変わっていきますので、例えば2015年までのデータしかありませんので16年、17年、18年と加えていくことになります。書き切れなくなったら、例えば20年幅で、ローリングでやっていこうということになるかと思います。

それから提案に関しては、今後とも提案があると思うんです。新しい提案が。例えば補修方法に関して、ワーキンググループAでいろんなことを検討した結果、こういうことをしていったらいいんじゃないかということが、そこで決められて、この利用者の会及び協議会でやっていこうということであれば、当然そこに提案という形でやっていくことになるかと思います。しかし同時に、結論が出ないものもあると思うのです。その年度では。それは当然こういうことを検討していて、検討課題として残っているよというのもちろんと載せていこうと考えています。

○利用者の会 済みません、課題が幾つかあって。ということは、まず利用者の会で提案、ローリングも含めてどうするかをまずお考えいただいて、それを協議会でどうしようかという順番になろうかと思うのです。流れからいくと。そのデータを積み重ねていくことについては問題ないのですが、この協議会で、はたしてそのデータをどうやって積み上げていくか、そこは双方でね合意点を見つけておくと具合悪いですよ。違いますかね。

○市 芦屋市の藪田です。

私も今これ聞いて、まだ頭の中で整理し切れてないのですが、今、長谷委員さんがおっしゃっていますのは多分、データと提案、2つあると思うのです。データは、例えば処理したごみの量でありますとか、それにかかった費用でありますとか、工事が幾らかかったという費用ですね。そういう実績値がデータで、新しいものがどんどん積み重なっていくのがあるのです。あともう一つ、この提案とは、ああしようじゃないか、こうしようじゃないかというやつだと思うのですが。昨年、8月ですか、提案したもの。あの提案書の中で。まだ頭の中で整理し切れてないので言葉にしにくいのですが、見直せる提案と見直しができないもの。ちょっとイメージしにくいのですが、あるのかなとは思っているのですが。

○利用者の会 データの件はそれでよろしいですか。提案の件は何かというと、当然今後とも提案及び検討をしていくことはあるんですよ。今の状態であると何の記録もな

い。例えばメールの、こういう大きなことをしていこうと決めました、それから情報ボードの件も決まりました。けども、今の状態でいくと何も残らないです、正式な文書としては。でしょう。こんな活動をしましたよも残らない。そういうものは協議会の活動として残していかなければいけない、でしょう。

そうじゃないと恐らく、何をやったのだと。何で、何を考えている、このメンバーが20年先もいるとは僕、全く思っていないです。当然、変わる。変わったときに過去のやつもきちっと残しておかないといけない。それをこんな文書の中から探せという話になったら、20年前と変わらなくなっていくんです。ですから毎年、きちっとそういうものを提案まで、こんな提案もしました。それは当然、いろんなどころに出す必要があるかもしれません。ですからそういうものも含んでいきましょうという考えです。

ただし、まだ漠然としていますので、具体的にどうするかは、この協議会の中で具体的な文章を出していきますので、その文章でここはこうしたらいい、この文言はこう変えたらいい。それはワーキンググループになるかもしれませんし、この協議会に出るかもしれませんし、当然利用者の会とも話さないといけない。そういうものはありません。そういうものはきちっと文書化して残していきましょうという考えです。

ですから具体的に出てきた段階で、いや、これは載せようとか、いや、これはこうだよという話を決めていけばいいと思います。だから今回は大きな、そういう考え方に関して皆さんで合意していただけないでしょうか。具体的な話に関しては、具体的な、これを載せよう、いや、これはいいだろうという話はそれぞれのところを出していこうと思っています。

○司会 尾川さん、どうぞ。

○市 環境施設の尾川です。

今、おっしゃっていることすごいよくわかるのですが、多分、この提案書を更新という形になると、多分收拾がつかなくなるような感じがします。提案書は利用者の会の方と市とでいろいろ話をしてできたものであるので、提案書は提案書でありまして、協議会の沿革と言えればおかしいのですが、協議会を、例えばここで情報ボードをつけましたとか、パイプラインメールシステム（略してPMS）をやりました。協議会の報告を毎年積み上げていくような形。その中で例えば、提案書に関してこういうふうに、また新たな補修方法が出ましたというのも積み上げていく形。そのほうが多分、提案書をさわっていくと收拾がつかなくなるような気がするので、協議会の報告書みたい

な形でやっていくと、それを毎年毎年積み上げていくといいんじゃないかなと思います。個人的な意見ですが。

○利用者の会 今、協議会の大多の市のホームページ、議事録として情報は出てます。

これ多分ですが、山口さんはそれプラス、データ更新で内容が逐一変わるので、そういうものを含めて、それからここで開示された中身より具体的な部分について、別段の枠組みとして積み上げていって、資料として残していきたいというお考えのような気がするんです。

提案は提案で、これまた利用者の会でこういう提案を新たにということがあれば、またこちらの協議会に持って議論されたらいい話だとは思いますが。手間の問題とか、ローリングができないことでもないでしょうし、これまた利用者側がこういう提案をしたいということがあれば、また利用者の会で考えて提案されればいいのか、形になるかと思えます。

通常、私の今までの経験で言うと、1つ出された提案がローリングしてという手法が、私ちょっと初めてだったので、その部分がどういうことなのかと思ってお聞きしたんです。多分、山口さんもそういうふうにお考えだと思うのだけど、いかがですか。

それと山口さんの提案は、こういうことを今後ここで協議していきたいという提案だと思うので、それはぜひ、否定されるものではないと思います。私がまとめたらいかんですけど、どんな感じですかね。

○利用者の会 ローリングというお話があったんですけど、これはデータに関してどんどんふえていくので、それは何十年とたったときに載せられなくなるので、それは皆さん方で、でも20年分はずっと載せていこうとか、そんな話にデータはなっているのです。そこはいいですか。

パイプラインに関する提案は市長まで行ってますので、これを云々はなかなか大変な作業になるので、それはそこで置いておいて、皆さん方の、3カ月間かけていろんな話をしましたので、その中でのご意見も非常に貴重なものだと私は思ってるのです。それをどうやって生かそうかと考えると、やはり年度のそれぞれの活動の中において説明会を開いて、皆さん方からこういう意見が出ましたよと。これに関しては、やはり検討する価値があるので、そこは当然検討していくことだということを文章としてきちっと載せていきたいということです。よろしいですか。

そうしないと、せっかく3カ月もかけて皆さん方の貴重な時間をいただいて、議論し

たのに、それがぼんと追いやられるのも非常に私自身は悲しいです。それは文書として残すと同時に、そういう中の意見で、これはぜひとも実行しなければいけないし、検討しなければいけないものもあると思いますので、そういうものは、例えば2018年度までにはきちっと載せていくことで処理をしていくと思っております。

○司会 香川さん、どうぞ。

○傍聴者 潮見町の香川です。

今のお話の出てることも踏まえて、ちょっと関連して言いたかったのですが、せっかく今回この提案書に出ました。とても内容もいいと思いますし、そして一応、私が今感じているのは、一応市からの話としては20年という1つのスパンを与えられているように思っております。だから、こういう施設の維持保全計画は、大体計画を立ててやるのですが、一度20年というスパンを目標に20年後の姿を考えながら、5年ごとで5カ年計画を立てて、その都度見直すやり方もあるし、きちっと計画的にいろんなことを考えていきたい。毎年毎年市の予算の動きもあるだろうし、利用者の会だけの問題じゃないし、それで今、協議会は市の方も出てきてくださっているし、議会の議員も出てきているという背景の中できちっと年度計画も立てて、今後どう進めていくか。5年後にはどうするのか、今ある課題はどこで解決するのか、ちょっと計画的にタイムスケジュールみたいなのをつくって進めていけたらいいなと思ってるのです。

恐らくこのまま20年、30年こんな話が続くわけではないと思うし、どこかで摩耗してきているしね、あのパイプラインも。それを見きわめながら、きちっとどこかで具体的な対策を、形を出していかないと芦屋市さんも、いつまでもまだやってるのとなってくるだろうし。そういう形で、きちっと計画的な動きをとっていきたいなと私は思っています。

○司会 それ以外にご意見ございますか、どうぞ。

○傍聴者 潮見町の野村でございます。

山口さんのおっしゃっている提案の文書化ですが、これは具体的に言えばオートロック式のごみ施設方式のものが今提案されてますけども、それよりも画期的な何か新しい案ができたとしたら、それを文書として明文化というか、その年の18年度か19年度か、そういうところでこんなものがでてきて、これは画期的だと思われそうですよ。それをその次の年は実際実験をしてみました。そうしたらそれは大変、こういうコストだとかいろんな利便性、そういうのにすぐれていましたと、そういうことを積み重ねて

いくところを明文化していこうと、こういう考え方でいいのでしょうか。

○利用者の会 そういうことも入れたいなと思っております。ただし、これが基本なので、これに対してそれ以上の、検討したら物すごいものが出てきた。それが非常にリーズナブルでコストが安い。私たちが5年、10年、20年、30年考えたよりもよりいいということであれば、当然提案していったらいいと思います。

その提案する場が、毎年こういうものをつくって行って、そこに載せていったらどうでしょうか。単発でどんと出るよりは、そこでしたほうがいいかなと私は思っています。

○司会 それ以外のご質問。三宅さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会、三宅です。

要するに年度ごとにこういう、年度報告書は結局、前年度分の過去を踏まえて、その1冊を見れば過去の経緯がわかって、今こうしていましたが、以降はこういうことをしたいというのが1冊でわかるような文書をつくりましょうということでもいいのですか。

○利用者の会 そうです。その中身を、一応ここに書いてあるものを載せていきたいなど。ただしその中身も今、確定しているかというとなかなか確定していないので、その都度ここに挙げますよと。1年たったらきちっとしたものにしていこうと。だから、それはこのメンバーがいなくなっても当然きちっとわかると。

大きな課題は、その40年前の資料とかいろんな話になったんですね、最初。そのときに、やはりきちっとした1冊にまとめているという作業の根本が僕は抜けていたと思うんです。当然企業はそういうことをして、担当者が変わるのが前提で組織をつくってますので、そこを見れば一応のことがわかる。そういうものはこの会としてつくっていったらどうかという考え方です。

○司会 それ以外のご質問ございますか。

○市 芦屋市の藪田です。

今、三宅さん言っていた内容すごくわかりやすかったので、まさしくこれからのやっていくことを文書化していくことで理解させてもらいましたし、いいことだと思いますのでやっていきたいと思います。

○利用者の会 今、藪田課長からやっていきたいというご賛同も得ましたので、要するに私自身もやはり記録に残す、これは非常に大事なことです。そういうのを残していく。これがパイプラインを使っている箇所が全国に13ございましたけど、芦屋市のホーム

ページ及び利用者の会を、例えば長岡市であれば常に見ていただいているのです。ですから私ども、やめられたところもありますが、まだ続いている東京幕張、大阪市南港、こういうところで私どものこの取り組みは、担当者のそれぞれの方に時々お電話で私は聞いてますけれども、非常にトップランナーとして住民と行政の協働しての作業が非常に役に立っているのです。ですから行政は常にオールマイティーではございませんので、住民の方もこの件に詳しい方、それで今後やっていく。これは非常にすばらしいことと思います。

あと、山口さん言われたように、この件、スタート時点では2年前、三宅さんもたしか国会図書館で調べたらどうかとか、そういう形も言われていました。そういう作業も、本当に綿密に作業をしてきて、今ここにあるわけでございますので、そういう形で記録に全て残していく。皆さんがわかるように。そういう趣旨だと思います。

ということでぜひ、私もこれはいいなと。こちらの方も、ずっとセクションにおられるわけではないと思いますので、人が見てわかる、こんなすばらしい提案はないと私自身は思っておりますので、ぜひお願いしたいなと思っております。

ご賛同の方、お願いしたいと思っておりますけど。

○利用者の会 内容は今、お話を聞いてよくわかるのですが、あと積み上げていくデータを、例えば今のお話でしたら外部に公表していく形のものであったりとか、どういう記録の媒体をどういうふうに残すかという手法の問題、それ等についても、要は市民と一緒にこういうのをつくり上げるという経験も、実は芦屋市は余りないです。初めてだと思います。

そういうことから言うと、その辺は調整をしながらということになろうかなと思うのですが、私がトップの代弁しとったらあかんですけれど、その辺の記録の処理の方法、公文書にどういう扱いがあるのかとか、いろんなことがあるでしょうから、そこについては明確にしてからということでもいいんじゃないかなと思うのですよね。

○市 多分見えないところもあるので、いろいろ話が出てくると思うのですが、この資料5のリード部分、「今後のパイプライン施設に関する提案を今後も維持しつつ」ということがまずあるのです。この提案はパイプラインの運用期間、20年、30年を定めて収集方法を変えていくんだというのが根本になっていますので、そういったことを維持するために、いろいろ今後出てくる課題を積み上げていく。部分的な修正が必要であれば、そこはもう積み上げていく、こういうお話をされていると私は理解しています。

具体的なやり方をきょう、一から十まで決めることはできないと思いますので、こう
いったアウトラインで少し進めていって、見えた状態でそれをどう扱っていくかを決
めていけばいいんじゃないかと思います。

○司会 行政が、トップが、今の、もう1つすばらしい見方かなと思いますので、そうい
う形で基本線としたらお互いやっていこうよと。ただし、まだ初めてのことだからい
ろんな障害も出てくるかもしれない。それはその都度修正していきましようというご
意見だと思いますので、それでいいかなと。それもすばらしいと思いますので。

これにてこの議題の件は、そういう形で、方向性でやらせていただくことでご了解お
願いいたします。

続きまして、本日議題の6、その他です。2月14日に廃棄物減量等推進審議会が開催
されます。その件に関しまして藪田課長からご説明をお願いいたします。

○市 芦屋市の藪田です。

次第6、その他に書かせていただいております。今もありましたが、2月14日、この
場所で廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。時間は14時半からとなっております。

そこで、パイプラインに関して諮問をさせてもらおうとしております。前回のこの協
議会の場でも説明させていただきましたが、内容は基本的に同じで、審議会へ諮問し
ようというものでございます。

傍聴席ですが、この部屋で開催することもありますので、余りたくさんの方が入るの
は非常に難しいので、いっぱいいっぱい席を配置して25名ぐらい何とか確保できるか
なとは思っております。それぐらいしかご用意できないのですが、基本的には先着順
でいこうかなと思っております。大幅にそれを超える場合は部屋の中に入れなくなって
しまいますので、そういう場合は申しわけないのですが、入場はできない形でさせて
いただきたいと思っております。

報告は以上です。

○司会 予約はできないそうですから、先着順でお願いいたします。

それでは本日最終の、どうぞ、香川さん。

○傍聴者 廃棄物減量推進の会の件で教えてほしいのですが、今、日本の国の各自治体の
動きで廃棄物の減量対策に取り組んでいるところが各自治体あるのですが、この前聞
いたのが、東京の品川区。新聞にも載っていましたが、各住戸の前にごみを置くスタ

イルが、一番廃棄物が減量した結果が出たという記事を見たのです。私の知り合いからもそれを聞いているのですが、それに対して芦屋市さんの見解は、その会議で出るのですか。

○市 環境施設課、森田でございます。

いわゆる各戸収集という考え方です。基本的には住民さんの利便から出てきた話ですが、実際やってみると誰が出したごみかがすぐわかってしまうということで、分別などもきっちりしていただける。いわば副作用的なものとして、ごみの減量につながっているというお話が出てきています。

市民の皆さんが利便性を向上させるという意味から、実は審議会でも戸別収集やることを考えてないのかというご意見も時々いただいております。ただ、現状では、当然のことながら今の体制ではそこまでできません。やろうとすると体制を拡充する、人も車もふやさないといけないことになるので、なかなか今のところ難しいところでまっているのが芦屋市の現状でございます。ただ、将来的な課題としては持っております。

○傍聴者 これは質問と言うよりも、最終的に確認です。やはりこの審議会等、この中でそのメンバーさんの同意を得た上でということになってるでしょうけども、こちらの代表がプレゼンテーションをさせていただきたいという要望です。これはきちっと議論をしていただけると考えていてよろしいのでしょうか。

○市 プレゼンテーションといいますか、利用者の方の代表の方からの意見を聴取する。審議会の立場としてはそういう立ち位置になりますが、この辺については審議会の会長さんにもお伝えをしております。

ただ、審議会の委員以外の方の、いわば第三者の意見を聴取するのは、その審議会を決めていただくことです。当日に会長さんから諮っていただいて、委員の皆様がご異議なければ意見を陳述していただくという段取りですね。

○司会 この審議会に関してご質問ございませんか。これは大事だと思いますので、皆さんぜひご都合つけてご参加のほどをよろしく願いいたしたいと思います。

それでは本日最後の議題ですね。次回のスケジュールです。大田様、どうぞ。

○傍聴者 潮見町の大田です。

最後、パイプラインの補修関係のところ、藪田さんからパイプライン交換で、平成10年から27年まで76箇所あったというお話ですが、これの総額はつかんでおられます

か。今、返事はできないですか。できなかつたら後日で結構ですが、非常に箇所的に数が多いなと思う。今後のパイプラインの補修方法によって、また76箇所の伸び率というのかな、これが鈍化していくのかなとは思っただけども、できたら今までの7年間の総額、どれぐらいかかったかを知りたいなと思います。

○司会 山口さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

正確なものではないかもしれませんが、この提案書の後ろから2ページに、補修費の穴あきが幾らで年度別幾らというのは載せてます。ですから、おっしゃることは非常に僕は大切な点だったと思いますので、今後ともこのデータを更新して行って、これだけではいけないかもしれません。それぞれの報告で分けないといけないかもしれませんので、そこはきちっと今後の、先ほどご賛同いただいたファクトブックと言いますか、そういうものにも集約されていくのだと思います。

今、現状ではこの後ろから2ページ目に、私のページでいくと31ページに2011年、12年、13年、14年、15年の輸送管の穴あき補修という形で金額はここに入っております。

○司会 それ以外にご質問ございませんか。ないようでしたらちょっと早いのですが、次回のスケジュール、3月10日でいかがでしょうか。ありがとうございます。

次回は3月10日土曜日、場所はこちらで、時間は10時から開始で決定させていただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。